



やまぶき

一関市立大原小学校 校報 No. 26

2026.9.18 文責：校長 松田

校外学習（1～4年）

9月16日（水）、1年生から4年生までが、それぞれの学年の特色を活かした生活科・社会科見学に出かけました。子供たちは、楽しみながら多くのことを学んできました。

1・2年生は生活科の学習で、一関郵便局と一関図書館を見学しました。郵便局では、手紙や荷物が届くまでの仕事について教えていただき、実際にはがきを出す体験も行いました。図書館では、本の借り方や利用する際の約束について学びました。見学後は一関文化センターで昼食をとり、施設内も見学しました。地域の施設やそこで働く方々の工夫や役割にふれ、施設のひみつを知る貴重な学習となりました。



3年生は社会科見学で、大東町内の施設や工場を訪れました。テクノボonzでは菜種油づくりの様子を見学し、学校給食センターでは給食ができるまでの過程について学びました。道の駅だいとうでは、施設の役割や地域で生産されている商品についてお話を伺いました。また、不二家乳業では、牛乳ができるまでについてお話を伺いました。地域で働く方々の工夫や努力にふれ、私たちの暮らしが多くの仕事に支えられていることを知る学習となりました。



4年生は、水について学ぶ社会科見学を行いました。防災センターでは、模型や映像を見ながら、洪水を防ぐための仕組みや水による災害について学びました。浄化センターでは、水をきれいにする設備を実際に見学し、使った水がどのように処理されるのかを確かめました。子供たちは、説明を熱心に聞き、メモを取りながら学習に取り組みました。水を安全に使うための多くの工夫を知り、きれいな水の大切さを改めて実感する学習となりました。



水かけ祭りの歴史（5年）

9月17日（木）、5年生は、水かけ祭り保存会顧問の金野さんを講師にお迎えし、水かけ祭りについて学びました。祭りの起源とされる江戸時代の「明暦の大火」、水をかける意味、水かけ太鼓の始まりなどを、熱心に聞きました。

特に、学習発表会で披露する「獅山清流囃子」の名前の由来や、金野さんが作曲された曲であること、校歌の歌詞に込められた意味のお話は、子供たちの心に強く残ったようです。地域に受け継がれてきた文化に込められた思いを知り、これから始まる水かけ太鼓の練習への意欲を高める学習となりました。



音楽の楽しさを体感（1～4年）

9月15日（火）、一関文化会議所主催「Music Program IWATE 星巡りプロジェクト」地域連携アウトリーチ事業が、今年度、本校で開催されました。1・2年生は3校時、3・4年生は5校時に音楽室で参加しました。

当日は、ピアノ、打楽器（パーカッション・マリンバなど）、トロンボーンによる演奏を鑑賞しました。演奏に合わせて、楽器のつくりや音の出る仕組み、音色の違いについても分かりやすく紹介していただきました。

子供たちは、目の前で響く豊かな音色と迫力ある演奏に引き込まれていました。トロンボーンの管がスライドする様子や、打楽器から生まれる多彩な音に驚きながら、音楽の楽しさや魅力を存分に味わう時間となりました。



校庭をきれいに

休み時間に、低学年の児童が自主的に校庭の草取りをしている姿を見かけます。小さな手で一生懸命に草を抜く子供たちの姿から、学校をきれいにし、大切にしようとする気持ちが伝わってきます。



9/19（土）～9/23（水）

シルバーウィークを安全に楽しくお過ごしください